

平成 21 年度  
アライアンスビジネス研究会 活動報告

平成 22 年 3 月



社団法人コンピュータソフトウェア協会



## はじめに



アライアンスビジネス研究会が主催するアライアンスビジネス交流会は、ITベンチャー企業とスポンサー企業との出会いの場として、平成21年度で開催9年目を迎え、通算74回の開催となりました。

これも一重に、プレゼンテーションを行うITベンチャー企業の育成支援ならびに自社ビジネス開拓のためにご参集いただきましたSIerや販社、ベンチャーキャピタルやソフトウェアベンダーの皆様のお力添えの賜物です。

今年度のアライアンスビジネス交流会では、昨年度に引き続き、他団体との交流として、一般社団法人日本ソフトウェア産業協会（略称：NSA）との合同開催を実施しました。また、地方自治体との交流として、北海道庁の協力による北海道ITベンチャー企業のプレゼンテーションを実施しました。

企画セミナーとしては、第73回交流会で久保田 達也 氏（サイバー大学 IT総合学部 教授）を招聘し、「Googleのビジネスマッチングに学ぶ」と題して、Google訪問でわかったアイデア実現の構造や、GoogleとAppleのビジネスマッチングの比較、これからGoogleが行うビジネスマッチングなどについて、講演いただきました。

また、第74回交流会では、藤田 憲治 氏（日経BP社 パソコン局長）を招聘し、「モバイル時代のビジネスマッチング」と題して、PCが歩んできた軌跡とモバイル市場の今後の推移や動向を比較しながら、新しいビジネス分野・ビジネスチャンスについて、講演いただきました。

クラウドコンピューティングやモバイルを活用したビジネスなど、旬な話題をテーマにした講演は、多くの方が熱心に聴講され、皆様のビジネスの一助となる企画ができました。

アライアンスビジネス研究会では、今後もITベンチャー企業の育成支援の推進ならびにソフトウェア業界発展に寄与する活動を行ってまいりたいと存じます。

最後に、ITベンチャー育成支援を行うための施策の検討や、プレゼンテーション企業へのアドバイス、当日の交流会でのビジネスマッチングの促進など、運営面も含め多大なご協力を賜りました研究会メンバーの皆様に、厚くお礼申し上げます。

平成22年3月

社団法人コンピュータソフトウェア協会  
アライアンスビジネス研究会 主査 佐藤 義孝

## 目次

はじめに.....	3
アライアンスビジネス研究会 メンバー名簿.....	5
アライアンスビジネス研究会の活動.....	6
アライアンスビジネス交流会への参加メリット.....	6
アライアンスビジネス交流会とは.....	7
アライアンスビジネス交流会の流れ.....	7
アライアンスビジネス交流会の過去の主な参加企業.....	8
アライアンスビジネス交流会開催日程.....	8
アライアンスビジネス交流会への参加.....	10
アライアンス大賞.....	11
アライアンス大賞の実績.....	13
第6回 CSAJ アライアンス大賞 受賞企業のご紹介.....	14
プレゼンテーション企業一覧.....	17
プレゼンテーション企業の概要及び発表内容.....	21
アライアンスビジネス研究会メンバー ピックアップコメント.....	55

## アライアンスビジネス研究会 メンバー名簿

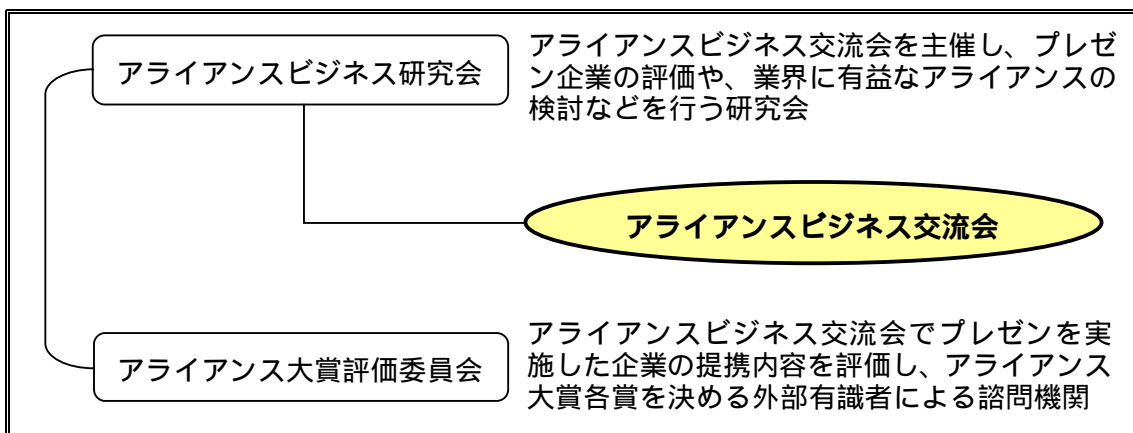
(社名五十音順、敬称略)

主 査	佐藤 義孝	NTT インテリジェント企画開発株式会社 代表取締役社長
メンバー	安達 美雄	株式会社大塚商会 執行役員 社長室長
"	加藤 太士	キヤノンソフト情報システム株式会社 執行役員 システム開発本部 本部長
"	岡本 康広	株式会社ソフトクリエイイト ビジネスアプリケーション統括部 ビジネスアプリケーション営業部 部長
"	長谷川 亮	日本事務器株式会社 事業推進本部 事業計画部 部長
"	折登 泰樹	ピーシーエー株式会社 専務取締役
"	田中 聡	株式会社ミクロス・ソフトウェア 代表取締役社長
"	多山 信幸	株式会社ミクロス・ソフトウェア 総務部 部長
"	中道 泰隆	株式会社リードレックス 経営企画室 室長
事務局	戸島 拓生	社団法人コンピュータソフトウェア協会

## アライアンスビジネス研究会の活動

「アライアンスビジネス研究会」は、IT 企業間のビジネスアライアンスの活性化を目的として、アライアンスビジネス交流会（主にベンチャー企業や中小企業にプレゼンテーションの場を提供、平成 13 年度より実施 [ 8 年目 ]）の主催・実施を行うとともに、関連団体や地方自治体との連携・協力、時事のテーマに基づくセミナーや統一テーマプレゼンテーション企画などを行います。

## 運営組織体系



## アライアンスビジネス交流会への参加メリット

ビジネスを成功させるためにスピードは重要な要因となる時代を迎えています。スピードや効率を考慮した場合、企業にとってアライアンスは必要不可欠な戦略となりました。

プレゼンテーション企業にとって

- メリット 1：ビジネスパートナーを見つける機会を得られます。
- メリット 2：自社の IT プロダクトや関連サービスを PR することができます。
- メリット 3：参加企業と販売、技術開発、資本等の提携を結ぶ機会を得られます。
- メリット 4：アライアンス大賞各賞の対象となる機会を得られます。また、各賞を受賞することで IT プロダクトや関連サービスの認知度が上がり、企業の信用力が高まります。

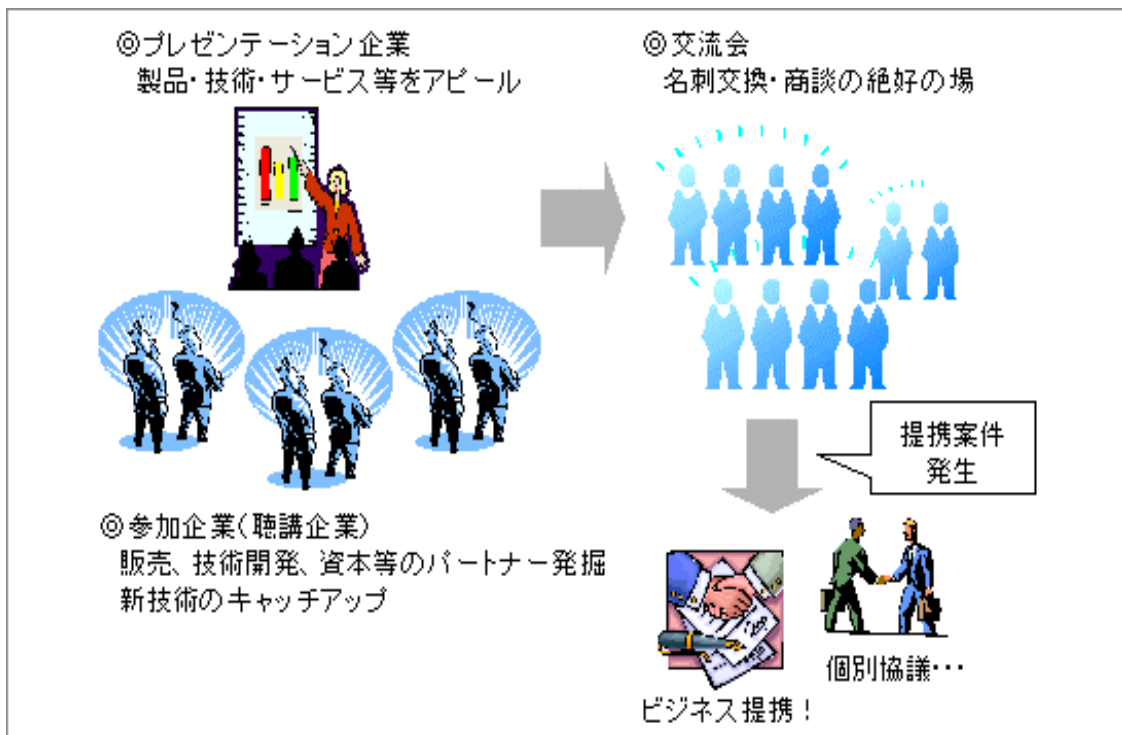
聴講企業にとって

- メリット 1：ビジネスパートナーを見つける機会を得られます。
- メリット 2：新規事業のためのビジネスシーズが発掘できます。
- メリット 3：ビジネスベースで開発された新しい技術をキャッチアップできます。
- メリット 4：業種/業態の異なる様々な企業との交流を図ることで多角的な情報収集ができます。
- メリット 5：取締役、執行役、事業責任者など決裁権を持つ聴講者との交流により、有益な人脈形成ができます。

## アライアンスビジネス交流会とは

「アライアンスビジネス交流会」とは、IT プロダクトや関連サービスをお持ちのベンチャー企業や中小企業に、プレゼンテーションの場を提供するとともに、参加企業相互のビジネスマッチングや懇親を促す交流会です。

- ・1回4社（または5社）のベンチャー企業等が、自社のITプロダクトや関連サービスのプレゼンテーションを実施。
- ・プレゼンテーション後、参加者同士のビジネス交流／商談（懇親会）を開催。



## アライアンスビジネス交流会の流れ

タイムテーブル	プログラム
16:00～16:05	アライアンスビジネス研究会主査挨拶
16:05～16:30	プレゼンテーション1【最大25分間】
16:30～16:55	プレゼンテーション2【最大25分間】
16:55～17:05	休憩
17:05～17:30	プレゼンテーション3【最大25分間】
17:30～17:55	プレゼンテーション4【最大25分間】
18:05～19:00	交流/商談（懇親会）

### プレゼンテーション

- ・4社個別にプレゼンテーションを実施
- ・プレゼンテーション時間は、1社25分以内
- ・質疑応答はプレゼンテーション時間内もしくは交流／商談の場で

### 交流／商談（懇親会）

- ・立食形式
- ・プレゼンテーション企業と聴講企業の交流
- ・聴講企業間の交流

4社で実施した場合のタイムテーブル例会場やセミナー企画などにより時間は異なります。

## アライアンスビジネス交流会の過去の主な参加企業

NTT インテリジェント企画開発(株) < 主査 >		
(株)大塚商会	ピーシーエー(株)	(株)リード・レックス
キャノンソフトウェア情報システム(株)	(株)ソフトクリエイト	日本事務器(株)
(株)マイクロ・ソフトウェア	丸紅インフォテック(株)	(株)オービックビジネスコンサルタント
カシオ情報機器(株)	NEC ネットエスアイ(株)	ダイワボウ情報システム(株)
エプソン販売(株)	(株)内田洋行	ソラン(株)
シャープドキュメントシステム(株)	日本システム開発(株)	Sky(株)
日立ソフトウェアエンジニアリング(株)	ソフトバンク BB(株)	双日(株)
KDDI(株)	日本オラクル(株)	有限責任監査法人トーマツ

その他 IT 関連企業が多数参加

( 順不同 ) 平成 22 年 3 月 31 日 時点

## アライアンスビジネス交流会開催日程

平成 21 年度の開催実績 ( 年間 8 回開催 )

日程	時間	会場	参加
平成 21 年 4 月 21 日(火)	16:00 ~ 19:00	トスラブ大久保会議室	38 社 51 名
平成 21 年 5 月 19 日(火)	16:00 ~ 19:00	CSAJ 会議室	42 社 54 名
平成 21 年 6 月 16 日(火)	16:00 ~ 19:30	CSAJ 会議室	35 社 46 名
平成 21 年 7 月 14 日(火)	16:00 ~ 19:00	CSAJ 会議室	46 社 59 名
平成 21 年 9 月 15 日(水)	16:00 ~ 19:00	CSAJ 会議室	39 社 49 名
平成 21 年 10 月 20 日(火)	16:00 ~ 19:00	CSAJ 会議室	43 社 53 名
平成 21 年 12 月 15 日(火)	14:00 ~ 18:00	トスラブ山王会議室	54 社 78 名
平成 22 年 2 月 16 日(火)	16:00 ~ 19:30	トスラブ大久保会議室	49 社 58 名

延べ参加 346 社 448 名

### 開催会場

会 場：社団法人コンピュータソフトウェア協会 会議室  
住 所：〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-15 日本自転車会館 1 号館 5 階  
T E L：03-3560-8440 FAX：03-3560-8441

会 場：関東 IT ソフトウェア健保会館 トスラブ大久保 1F 会議室  
住 所：〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-27-6 ( トスラブ大久保 [ 桜華樓 ] )  
T E L：03-5925-5333 FAX：03-5925-5325

会 場：関東 IT ソフトウェア健保会館 トスラブ山王 2F 会議室  
住 所：〒100-0014 東京都港区赤坂 2-5-6 ( トスラブ山王 [ 木都里亭 ] )  
T E L：03-5570-1803 FAX：03-5570-1804



## アライアンスビジネス交流会企画実績

### 特別講演

平成 21 年 6 月 16 日 (火)

< 第 69 回アライアンスビジネス交流会にて >

テーマ：「第 6 回 CSAJ アライアンス大賞「最優秀賞」受賞企業による受賞への軌跡」

講演者：福田 玲二 氏 (株式会社チェプロ 代表取締役)

平成 21 年 12 月 15 日 (火)

< 第 73 回アライアンスビジネス交流会にて >

テーマ：「Google のビジネスマッチングに学ぶ」

1. Google 訪問でわかったアイデア実現の構造
2. Google と Apple のビジネスマッチング
3. これから Google が行うビジネスマッチングを読む

講演者：久保田 達也 氏 (サイバー大学 IT 総合学部 教授)

平成 22 年 2 月 16 日 (火)

< 第 74 回アライアンスビジネス交流会にて >

テーマ：「モバイル時代のビジネスマッチング」

講演者：藤田 憲治 氏 (日経 BP 社 パソコン局長)

### プレゼンテーションテーマ統一

平成 21 年 7 月 14 日 (火)

< 第 70 回アライアンスビジネス交流会にて >

SaaS・ASP・Web アプリケーション製品特集



## アライアンスビジネス交流会への参加

### プレゼンテーション発表者資格

IT プロダクトや関連サービスをお持ちの企業（ 版やプロトタイプ板は除く）

プレゼンテーション内容については、事前審査（ヒアリング）を行わせていただきます。

参加費（プレゼンテーション、展示物設置、プレゼンター1名分含む）

CSAJ 会員： 5,000 円 / 非会員：20,000 円

### プレゼンテーション申込

以下 URL よりお申込みください。事務局より改めてご連絡申し上げます。なお、応募多数により事務局からお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。

- ・プレゼンテーション参加希望申込書先

<http://www.csaj.jp/activity/ab/index.html>

### 聴講希望者参加資格

ビジネスパートナーを模索されている企業

新しい技術をお探しの方、新規事業をご検討の方に特に適しています。

参加費は 1,000 円または 2,000 円となります（会場による異なる / 資料代・懇親会費等含まず）

各回開催案内よりお申し込みください。

アライアンスビジネス交流会に関する情報を定期的にご希望の方は、ぜひ「CSAJ めるまが」にご登録ください（登録はこちらから <http://www.csaj.jp/mailmaga/>）

その他、アライアンスビジネス交流会に関してご不明な点がございましたら、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先

社団法人コンピュータソフトウェア協会

業務課 戸島 TEL : 03-3560-8440 E - Mail : ab@csaj.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-15 日本自転車会館 1 号館 5 階

## アライアンス大賞

「CSAJ アライアンス大賞」とは、アライアンスビジネス交流会で、自社の IT プロダクトや関連サービスのプレゼンテーションを実施した企業（主にベンチャー企業、またはそれに準ずる企業）に対して、その後一定期間におけるアライアンスの実績と将来性を評価し、授与するものです。

- ・優秀なアライアンスの実績を収めたが、中堅以上とみなされる会員企業の場合には、"特別賞"を授与することがあります。
- ・アライアンス大賞を授与された企業のアライアンスパートナー（複数の場合もある）に対して、"パートナー賞"を授与することがあります。

### 背景

我が国の経済は、市場競争の激化、グローバル化、消費者ニーズの多様化などが進展し、起業率と廃業率の逆転現象が起こっています。そのような中で、経済の活性化や新たな雇用の創出を図る上で、IT ベンチャー企業支援を積極的に行うことが望まれています。残念ながら、ベンチャー企業の育成に必要とされる教育・文化・社会のしくみなど、環境の未整備が否めない状況にあります。また、起業家自身にも、失敗をひとつの経験やバネにし、より大きなビジネスに賭けていく、フロンティアスピリッツが培われているとは言えません。

アライアンス大賞は、現時点におけるベンチャー企業の小さな成果や実績を踏まえ、将来の可能性を評価することにより、起業家のモチベーションを高め、市場でブレークスルーできるような日本初の企業が生まれることを願って創設されました。支援する側にも"パートナー賞"を授与することにより、更なるベンチャー育成への輪が広がり、業界発展に寄与できるものと信じています。

### 対象企業

平成 21 年（平成 21 年 1 月～平成 21 年 12 月）に、アライアンスビジネス交流会で IT プロダクトや関連サービスのプレゼンテーションを実施した企業。（主にベンチャー企業、またはそれに準じる企業）

### 選考基準

- プレゼンテーション後（3～6 ヶ月間程度）のアライアンス状況及び実績
- プロダクト・サービス等の市場性（市場規模や今後の市場展望、成長の見込みなど）
- プロダクト・サービス等の新規性（製品の独自性・革新性・目新しさなど）
- プロダクト・サービス等の技術力（新しい技術への取り組み、開発能力など）

## アライアンス大賞

### 選考方法

第一次審査（アライアンスビジネス研究会による審査）

プレゼンテーション後3～6ヶ月間の実績報告書、CSAJ事務局からのヒアリング結果報告書（アライアンス実績があった、または見込まれる企業に対して当該企業ならびにパートナー企業双方へのヒアリングを実施）、アライアンスビジネス交流会聴講者からのアンケート結果などを元に検討し、第二次選考へ進む候補企業を選考します。

第二次選考（アライアンス大賞評価委員会による選考及び受賞企業決定）

第一次審査を通過したアライアンス大賞候補企業に対して、有識者で構成される評価委員会にて、詳細な検討を行い、最終決定します。

### アライアンス大賞評価委員会

委員長 那野 比古 氏（井上一郎）（多摩大学教授・大学院教授）

委員 宮内 祥行 氏（株式会社日経BP 執行役員パソコン局長）

〃 西澤 民夫 氏（独立行政法人中小企業基盤整備機構 新事業支援部  
統括プロジェクトマネージャー）

〃 磯部 真人 氏（IDC フロンティア株式会社 社取締役ビジネス開発本部長）

〃 武市 博明 氏（情報通信ネットワーク産業協会 常務理事）

〃 杉浦 和史 氏（杉浦技術士事務所（情報工学部門）技術士）

（第6回アライアンス大賞審査時、順不同、敬称略）

### アライアンス大賞発表及び表彰

発表：CSAJ 総会

表彰：CSAJ 総会後の懇親パーティ

### 授与品ならびに受賞特典

表彰状及びトロフィー

総会後の懇親パーティ会場にて展示スペースの提供

News Release による周知やCSAJ Web ページなどへの掲載

CSAJ 主催もしくは協賛する展示会・イベント等での発表の機会

## アライアンス大賞の実績

第1回 JPSA アライアンス大賞（第19回通常総会：平成16年6月9日(水)にて発表）

- ・最優秀賞：授賞企業なし
- ・奨励賞：株式会社高速屋
- ・奨励賞：株式会社ターボデータラボラトリー
- ・奨励賞：株式会社クオリティ・アンド・バリューコンサルティング
- ・特別賞：ソフトクリエイイト株式会社

第2回 JPSA アライアンス大賞（第20回通常総会：平成17年6月8日(水)にて発表）

- ・最優秀賞：red たんぽぽ(有)
- ・奨励賞：株式会社チェプロ
- ・奨励賞：株式会社ネットディメンション
- ・奨励賞：株式会社ヴィパーク

第3回 JPSA アライアンス大賞（第21回通常総会：平成18年6月14日(水)にて発表）

- ・最優秀賞：スマートワイヤレス株式会社
- ・優秀賞：株式会社 Knowlbo
- ・優秀賞：フォーディーネットワークス株式会社
- ・奨励賞：ワークスコープ株式会社
- ・パートナー賞：エヌ・ティ・ティ・インテリジェント企画開発株式会社

第4回 CSAJ アライアンス大賞（第22回通常総会：平成19年6月13日(水)にて発表）

- ・最優秀賞：株式会社ハイパーテック
- ・優秀賞：ソフトアドバンス株式会社
- ・奨励賞：株式会社アズベース
- ・奨励賞：イーズ・コミュニケーションズ株式会社
- ・奨励賞：株式会社ニューフォレスター
- ・パートナー賞：丸紅インフォテック株式会社

第5回 CSAJ アライアンス大賞（第23回通常総会：平成20年6月11日(水)にて発表）

- ・最優秀賞：トライポッドワークス株式会社
- ・奨励賞：株式会社 ALBERT（アルベルト）
- ・奨励賞：ビバコンピュータ株式会社
- ・パートナー賞：ユニファイジャパン株式会社

第6回 CSAJ アライアンス大賞（第24回通常総会：平成21年6月10日(水)にて発表）

- ・最優秀賞：株式会社チェプロ
- ・優秀賞：株式会社テラスカイ
- ・奨励賞：サイバーステーション株式会社
- ・奨励賞：株式会社ユニテック

（順不同、敬称略）

## 第 6 回 CSAJ アライアンス大賞 受賞企業のご紹介

最優秀賞：株式会社チェプロ

住 所：〒164-0011 東京都中野区中央 2-2-31 中野 NSB ビル 2 階

U R L：<http://www.chepro.co.jp/>

設 立 年 月 日：1997 年 2 月

資本金(百万円)：85.3 百万円

従 業 員 数：25 名

事 業 内 容：トータルシステムコンサルティング、ソフトウェアに関するコア技術およびツールの開発・販売、基幹システムの設計開発・販売

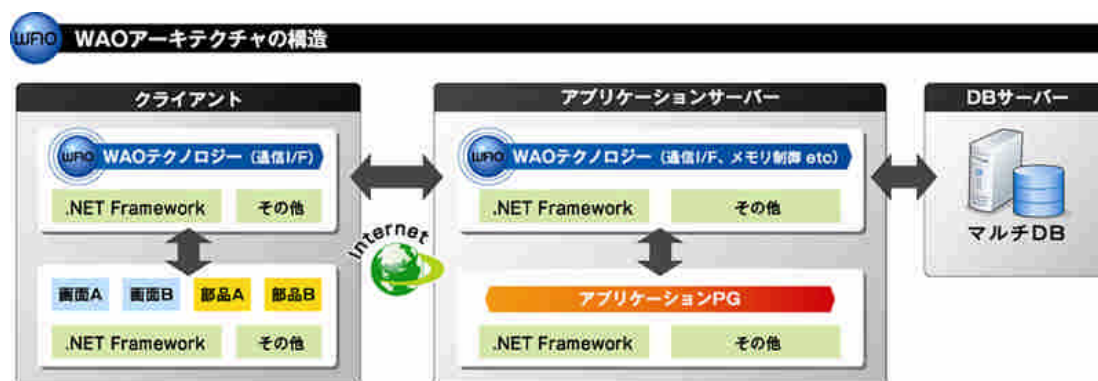
受賞製品カテゴリ：Web システム開発支援ツール

受 賞 製 品 名：「WAOtech (ワオテク)」

受賞製品紹介 URL：<http://www.chepro.co.jp/product/waotech/>

受賞製品概要：

業務システムの Web 化は、遠距離の支店や現場の現状をリアルタイムに反映でき、情報の一元管理を可能にするためスピード経営を実現する施策として高いニーズがあります。また、SaaS・ASP サービスを提供する場合もアプリケーションの Web 化が必要です。しかし、ブラウザを使用する従来の Web システムでは C/S システムと比較すると速さと操作性が劣るという問題がありました。そこで当社は、独自の通信 I/F モジュール「WAO テクノロジー」を開発し 3 層アーキテクチャにおいてブラウザの代わりにクライアント - アプリケーションサーバ間のイベント情報の交換に用いることにより、C/S と同等の速さと操作性を有する Web システムの開発を可能にしました。今回、最優秀賞を受賞した開発支援ツールは、この通信 I/F モジュール「WAO テクノロジー」を自動生成するツールで、これを用いるとソフトウェアやシステム開発会社様で簡単に C/S 同等の速さと使い勝手を実現した Web システムが開発できます。



## 第 6 回 CSAJ アライアンス大賞 受賞企業のご紹介

### [ 主な特徴とメリット ]

既存の C/S 資産の Web 化も可能。低コスト・短納期で移行ができます。  
開発手法は従来の C/S 開発と同じ。新しい言語や手法の習得は不要です。  
C/S 同等の速さと使い勝手でも、クライアントの管理不要（クライアント側にアプリケーション、データは一切なし）、アプリケーションサーバ側での一元管理ができます。  
マルチプラットフォーム（1つのアーキテクチャで SaaS・ASP、Web、C/S、スタンドアロンのいずれの環境にも対応可）で開発費を大幅低減します。  
サーバ台数を削減し、グリーン IT の推進と TCO の低減ができます。

### コメント：

『株式会社チェプロ 代表取締役 福田 玲二 氏』



この度は、アライアンス大賞最優秀賞という大変名誉ある賞を受賞させて頂き誠にありがとうございます。審査員および CSAJ 事務局の皆様、パートナー様、アライアンス交流会後多数のお問合せを頂いた皆様、深くお礼を申し上げます。

C/S 同等の速さと操作性をインターネット環境で実現する「WAO アーキテクチャ」と独自通信 I/F モジュール「WAO テクノロジー」を 2007 年に発表、その後「WAO テクノロジー」を搭載した Web 対応 ERP の販売を開始、今までの Web システムの課題とされてきた速さと操作性を解決したシステムと高い評価を頂きました。そこで、この技術を広くソフトウェア業界で利用して頂くために、開発支援ツール「WAOtech」を開発、アライアンスビジネス交流会でご紹介させて頂きました。

技術の革新性に対してご評価を頂いても、ベンチャー企業の場合、それを早期にビジネスに繋げることが難しい中、交流会を通じて頂いた多数のお問合せから、販売アライアンスや技術アライアンスの実績が実現し、約 3,000 のクライアントライセンス販売を達成いたしました。今後も、CSAJ 様のビジネスマッチングの機会提供のご支援を頂きながら、ソフトウェア業界の発展に貢献すべく、ソフトウェアの革新的な技術開発を積極的に進めて参ります。

## 第 6 回 CSAJ アライアンス大賞 受賞企業のご紹介

優秀賞：株式会社テラスカイ

住 所：〒111-0052 東京都台東区柳橋 1-23-4 浅草橋杉浦ビル 6 階

U R L：<http://www.terrasky.co.jp/>

設 立 年 月 日：2006 年 4 月

資本金(百万円)：76 百万円

従 業 員 数：27 名

事 業 内 容：SaaS 型アプリケーションの開発および導入、EAI ツールの開発および導入

受賞製品カテゴリ：SaaS 型データ連携ツール

受 賞 製 品 名：「Sky on Demand」<スカイオンデマンド>

奨励賞：サイバーステーション株式会社

住 所：〒920-8203 石川県金沢市鞍月四丁目 187 番地

U R L：<http://www.cyberstation.co.jp/>

設 立 年 月 日：2000 年 5 月

資本金(百万円)：73.5 百万円

従 業 員 数：52 名

事 業 内 容：Web 全般のシステム開発、コンテンツ制作、ネットワーク構築、データセンター運営、Web 関連自社開発 ASP サービスの開発・販売

受賞製品カテゴリ：アプリケーション開発用フレームワーク

受 賞 製 品 名：「C4」<シーフォー>

奨励賞：株式会社ユニテック

住 所：〒420-0911 静岡県静岡市葵区瀬名 1 丁目 18 番 33 号

U R L：<http://www.unitec.jp/>

設 立 年 月 日：1981 年 4 月

資本金(百万円)：50 百万円

従 業 員 数：130 名

事 業 内 容：ソフト開発、アウトソーシング、情報機器販売、HP 制作、基盤製作他

受賞製品カテゴリ：公立幼稚園～小・中学校向け会計システム

受 賞 製 品 名：「校内会計システム」





# プレゼンテーション企業一覧

対象期間：平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月

## プレゼンテーション企業一覧

開催日	企業名	プレゼン製品カテゴリ / 『製品名』	頁
平成 21 年 4 月 21 日 ( 第 67 回 )	有限会社 T4	3D コンテンツ生成エンジン 『AREngine』	22
	株式会社グリーンキャット	PDF による文書管理・セキュリティ管理 『OpenFlow』	23
	株式会社システムディ	小中高校向け校務支援 IT ソリューション 『School Plan』	24
	フォーディーネットワークス 株式会社	高性能データベース 『4D DAM』	25
平成 21 年 5 月 19 日 ( 第 68 回 )	株式会社グローバル・リンク	日中バイリンガル財務会計ソフト 『 財務会計 』	26
	株式会社ネットプレナー	高性能データベース自動構築ツール 『EA-RAD』	27
	ニューロネット株式会社	SNS 型コラボレーション SaaS サービス 『SaasBoard』	28
	アイビーシー株式会社	ネットワークシステム性能管理ツール 『System Answer』	29
平成 21 年 6 月 16 日 ( 第 69 回 )	株式会社ケイアンドアイイン ターナショナル	データ連携&MDM ( Master Data Management ) 『K&I eIDM フレームワーク』	30
	株式会社ヴィバーク	BI システム構築ツール 『Cube Walker』	31
	株式会社テクノブレン	WEB システム開発ツール 『J-WARP』	32
	株式会社メディビック	製造・化学系研究開発現場向け実験情報管理データ ベース及びシミュレータ 『MDSS 配合設計データベース』	33
平成 21 年 7 月 14 日 ( 第 70 回 )	NEC ネットエスアイ株式会 社	IT サービス付加型音声機能提供サービス 『音声 SaaS サービス』	34
	株式会社インターコム	サポートセンター、ヘルプデスク向けリモートサポ ートツール 『LAPLINK ASP2』	35
	株式会社スマイルワークス	SaaS 型統合業務システム 『ClearWorks シリーズ』 『ClearWorks for J-SaaS』	36
	株式会社ネオジャパン	グループウェア / SaaS プラットフォームサービス 『desknet's ( デスクネット )』 『Applitus ( アプリタ ス )』	37

## プレゼンテーション企業一覧

開催日	企業名	プレゼン製品カテゴリ / 『製品名』	頁
平成 21 年 9 月 15 日 (第 71 回)	Witsign 株式会社	ウェブコンテンツ制御 『WitGuide (ウィット・ガイド)』	38
	トライポッドワークス株式会社	電子メールセキュリティ 『BitSCREEN for Mail(ビットスクリーンフォーマール)』	39
	ゾックス株式会社	XBRL データ活用ソリューション 『Z-API』 『SpreadSheet Solution for XBRL』	40
	株式会社サイズ	コンテンツマネジメントシステム (CMS) 『Web Meister』	41
平成 21 年 10 月 20 日 (第 72 回)	株式会社ビーブレイクシステムズ	業務管理システム 『MA-EYES (エムエーアイズ)』	42
	アドバンスデザイン株式会社	データ消去サービス 『DataSweeper Handy』	43
	ビジネスオンライン株式会社	SaaS 型財務会計ソリューション 『GLOBALANCE (グローバルランス)』	44
	有限会社インディーロム	SaaS 型 e ラーニング研修サービス 『ドリルメーカー』	45
平成 21 年 12 月 15 日 (第 73 回)	株式会社オプティマ	デジタルサイネージ (電子広告装置) 『オプティマビジョン』	46
	アカダマ株式会社	中小企業向けクラウド・ストレージサービス 『アカダマ』	47
	株式会社インフォセンス	RFID ソリューション 『RTI 管理システム、RFID 実証実験サービス、RFID 安全管理』	48
	株式会社ビズ・ロジック	情報共有・知識共有ソリューション 『PenseeNotes (パンセノート) 5.0』	49
平成 22 年 2 月 16 日 (第 74 回)	株式会社サンクレエ	販売管理パッケージソフト 『pieceworks 6』	50
	SOC 株式会社	人事管理パッケージソフト 『人事管理パッケージ』	51
	株式会社ラピュール	GIS 連動型顧客管理システム 『GISWAY(ジス・ウェイ)』	52
	株式会社ちえぶくろ	ASP サービス 『オンラインショップ ASP サービス』	53



# プレゼンテーション企業の概要及び発表内容

プレゼンテーション実施時資料

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 67 回 (平成 21 年 4 月 21 日実施)**

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：有限会社 T 4  
 住 所：〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-34-3  
 T E L：03-5604-0778  
 U R L：<http://www.t4net.jp/>  
 設 立 年 月 日：1999 年 1 月 26 日  
 資本金(百万円)：3 百万円  
 従 業 員 数：4 名  
 事 業 内 容：3DCG のアルゴリズム研究、3DCG のアプリケーション開発、3DCG に  
 関わるコンテンツ制作、Web アプリケーション開発、Web サイト構築関  
 連デザイン、e-ラーニングコンテンツ制作

### アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類

- ・拡張現実を実現するエンジン
- ・Web カメラを用いた映像をリアルタイム 3 次元空間化とその応用

プレゼンテーションテーマ

拡張現実 (AR) での現実世界と仮想世界の融合

プレゼンテーション概要

有限会社 T 4 の会社概要及び、拡張現実 (AR) についての解説と既存のサービス、弊社の開発している「AREngine」と、今後の展望について説明いたします。現在、社会浸透を目指すべく 1 台の Web カメラにて実映像空間のリアルタイム 3 次元空間化に成功しました。同時にこの実空間に対応した仮想空間に現実単位 (ミリメートル、センチメートル) を内包することが可能となったためさまざまなサービス創出を目論んでいます。

プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を [ ] 内にご記入ください)

[ 2 ]	[ 3 ]	[ 1 ]	[ ]
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

< 具体的な内容 >

資本提携の募集。また、サービス (インフラ) 構築にあたっての開発パートナーの募集。

アライアンス対象の相手企業のメリット

弊社とアライアンスをくみますと

- ・カメラを通して見た拡張現実に対して、仮想オブジェクトをオーバーラップさせることにより情報を付加する新しいサービス体系を先んじて着手することができます。
- ・新しいコミュニケーションツールとして製品売り上げに貢献いたします。
- ・弊社開発の ARE は SDK (開発キット) を同梱しています。そのため早期サービスへの開発が可能です。
- ・カメラを固定した場合、動体追尾・検知など防犯に応用されます。
- ・経済産業省の予測で 2013 年に地図サービス産業の市場規模が 10 兆円に達すると言われております。この「G 世界」(GPS と地図情報を結ぶ) への新しいサービスを創出できます。

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

### 平成 21 年度 第 67 回 (平成 21 年 4 月 21 日実施)

#### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社グリーンキャット  
 住 所：〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5 - 5 サンケンビル  
 T E L：03-3235-2547  
 U R L：<http://www.greencat.co.jp/>  
 設 立 年 月 日：1984 年 8 月 1 日  
 資本金(百万円)：14.3 百万円 (平成 20 年 10 月現在)  
 従 業 員 数：63 名 (平成 20 年 10 月現在)  
 事 業 内 容：コンピュータソフトウェアの開発、ドキュメントソリューション事業、書籍の出版事業

#### アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類  
 PDF による文書管理・セキュリティ管理

プレゼンテーションテーマ

・ToSE サーバのご紹介

～OpenFlow ベースの文書管理・セキュリティ管理システム～

プレゼンテーション概要

弊社製品 OpenFlow は、PDF ファイルの自動加工エンジンとして製薬業界を中心に高い評価を頂いております。この度この OpenFlow をベースとし、文書管理・セキュリティ管理に特化したシステム ToSE サーバシリーズを開発いたしました。プレゼンテーションではデモを交え、ToSE サーバ及び弊社の基礎技術に関するご説明を致します。当プレゼンテーションを機会に販売提携などのアライアンスが実現する事を希望しております。

プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1～4 を〔 〕内にご記入ください)

〔 1 〕

〔 2 〕

〔 3 〕

〔 4 〕

販売提携

技術提携

資本提携

その他提携

< 具体的な内容 >

弊社の製品または技術を再販して頂ける相手企業探しが第一目的です。今回開発した製品の販売には営業力が必要ですが弊社には部隊がいなく苦戦をしておるため、パートナー企業様が必要と考えております。パートナー様のお客様に弊社製品も同時に販売して頂く事で、パートナー様のビジネスも拡大するような関係、即ち協業する事によりお互いに相乗効果を発揮できるような関係の相手企業を探すのが目的です。

アライアンス対象の相手企業のメリット

PDF は、電子文書の長期保存のためのフォーマットとして PDF/a-1 が国際標準化 (ISO19005-1) されたのに続き、2008 年 7 月には電子文書の国際規格 [ISO 32000-1] として ISO 化されました。先に開かれた IT 戦略本部の新戦略三ヵ年緊急プラン検討におきましても、行政情報のデジタル化が打ち出されるなど、PDF 技術は今後情報技術の中での差別化要因となる事が予想されます。

弊社とアライアンスを組み弊社製品や弊社技術をアライアンス先の仕事に組み込んで頂く事により、アライアンス先のお客様に対する差別化要因となる効果が期待されます。

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 67 回 (平成 21 年 4 月 21 日実施)**

プレゼンテーション企業会社概要
<p>会 社 名：株式会社システムディ            住 所：〒604-8172 京都市中京区烏丸通り三条上る            T E L：075-256-7585            U R L：<a href="http://www.systemd.co.jp/">http://www.systemd.co.jp/</a>            設 立 年 月 日：1982 年 4 月 28 日 (創業：1984 年 8 月 14 日)            資本金(百万円)：484 百万円            従 業 員 数：130 名            事 業 内 容：コンピュータソフトウェアの企画・開発・販売及び各種調査事業</p>
アライアンスビジネス交流会発表内容
<p>プレゼンテーションする製品・サービスの分類            ・小中高校向け校務支援 IT SaaS ソリューション</p> <p>プレゼンテーションテーマ            ・SaaS・校務 IT SaaS ソリューション</p> <p>プレゼンテーション概要            小中高校の校務 IT 促進を目的として、低コスト・高機能 SaaS 型ソリューションを紹介し            ます。国策としての教員 1 人 1 台 PC 化、校務の情報化に向けて最適なソリューションベ            ースを提案いたします。</p> <p>プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を [ ] 内にご記入ください)            [ 1 ]                      [ 2 ]                      [    ]                      [    ]            販売提携                      技術提携                      資本提携                      その他提携</p> <p>&lt;具体的な内容&gt;            弊社が提供する SaaS プラットフォームにおいて弊社製品だけでなく、複数のサービスを            統合して事業者とユーザーの最大メリットを追求したいと考えています。よって、販売パ            ートナー、製品パートナーを募集します。</p> <p>アライアンス対象の相手企業のメリット            自治体の教育委員会・学校へ向けた強力なセールスツールになります。校務 IT 化の推進は            総務省・文部科学省も強く提言しており、お客様の強いニーズがあります。提携して、同            一プラットフォームを提供することにより、お客様との強いコネクションができるととも            に、提携会社独自のソリューションも載せることができます。</p>



## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 67 回 (平成 21 年 4 月 21 日実施)**

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：フォーディーネットワークス株式会社  
 住 所：〒108-0074 東京都港区高輪 3-2-3 T323 プレイスビル 4 階  
 T E L：03-5798-0012  
 U R L：<http://www.4dn.co.jp/>  
 設 立 年 月 日：2000 年 4 月  
 資本金(百万円)：222 百万円  
 従 業 員 数：11 名  
 事 業 内 容：組込み Java アプリケーション開発販売、ハイパフォーマンスデータベース開発販売など

### アライアンスビジネス交流会発表内容

#### プレゼンテーションする製品・サービスの分類

- ・ OLAP(On Line Analytical Processing)、ETL(Extract Transform Load)機能を持った高性能データベース

#### プレゼンテーションテーマ

- ・ 高性能データベース「4D DAM」のご紹介

#### プレゼンテーション概要

- ・ ER モデルでも、Dimensional モデルでもない第三の Multi Value モデルである高性能データベースのご紹介
- ・ デモは、履歴データの複雑検索とその早いレスポンスを Universal OLAP でご紹介、動作中の SQL Server からデータを抜き出し、加工して、Excel データとして出力する ETL 機能をご紹介、さらに、最近問題視されている Excel データのデータベース化による統合管理をご紹介

プレゼンテーションの目的(ご希望の提携の優先順位 1~4 を〔 〕内にご記入ください)

〔 1 〕	〔 2 〕	〔 3 〕	〔 〕
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

#### <具体的な内容>

4D DAM の販売提携や OEM 提供などにより、

1. 個別開発案件に、また、貴社製品への高性能データベースエンジンとして
2. SSD などのハードウェアとバンドルして超高速 DB アライアンスとして
3. SaaS へのデータウェアハウスエンジンとして、あるいはデータベースエンジンとして販売提携・技術提携をさせていただければ幸いです。

その他いろいろな形態での提携をご検討、ご提案いただければ幸いです。

#### アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・ 超高速性能
- ・ 柔軟なシステム構築が可能な豊富な機能
- ・ 優れたコストパフォーマンス
- ・ 業務システムとの柔軟な接続性

上記利点を持つ当社データベースのご活用で、付加価値の高い、比類ない競争力のあるデータウェアハウス、データベースソリューションやシステムが構築できます。

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 68 回 (平成 21 年 5 月 19 日実施)**

プレゼンテーション企業会社概要									
会 社	名：グローバル・リンク株式会社								
住 所	：神奈川県横浜市中区本町 1-7 東ビル 2F								
T E L	：045-222-3391								
U R L	： <a href="http://www.gl-link.com/">http://www.gl-link.com/</a>								
設 立 年 月 日	：2005 年 10 月								
資 本 金 (百 万 円)	：10 百万円								
従 業 員 数	：15 名								
事 業 内 容	：会計システム、及び金融関連システムの受託開発、および保守サポート関連業務、 リスクマネージメントサービス、会計ソリューションサービス、人材育成・研修 サービス、中国オフショア開発サービス								
アライアンスビジネス交流会発表内容									
<p>プレゼンテーションする製品・サービスの分類 日中バイリンガル財務会計ソフト / 「i 財務会計」 中国進出企業様対象(親会社、および現地法人に対する会計ソフトの導入サポート、及び関連サービス)</p> <p>プレゼンテーションテーマ 中国現法の会計データの「見える化」について</p> <p>プレゼンテーション概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国現地法人と日本本社の会計情報 GAP について</li> <li>・「i 財務会計」(日中バイリンガル財務会計ソフト)の概要について</li> <li>・中国現地法人と日本本社とのデータ連動システムの概要について</li> <li>・日本本社様に対するソフト&amp;サポートサービスの概要について</li> </ul> <p>プレゼンテーションの目的</p> <p>グローバル企業の国際会計を取り巻く環境は大きく変化しており、新会社法や J-SOX 法の施行、国際会計基準への対応により業務プロセスの見直しと共に会計システム基盤整備が求められています。また、中国へ進出する日本企業様も、移転価格税制をはじめとする中国の会計制度の変更に伴い日本本社も相当な影響を受ける傾向にありますので、従来のように現地法人で利用する会計ソフトという判断ではなく、日本・中国、両国で利用可能なソフトという視点での会計システムが求められています。</p> <p>当社では、他通貨・多言語・Web 対応の中国財務局認定、世界で唯一の日系企業専用の会計ソフト「i 財務会計」を有効的に御活用いただく事によって、日本本社側での会計データの「見える化」支援と「付加価値サポートサービス」を提供させて頂きたいと考えております。</p> <p>プレゼンテーションの目的(ご希望の提携の優先順位 1~4 を〔 〕内にご記入ください)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">〔 3 〕</td> <td style="width: 25%;">〔 2 〕</td> <td style="width: 25%;">〔 〕</td> <td style="width: 25%;">〔 1 〕</td> </tr> <tr> <td>販売提携</td> <td>技術提携</td> <td>資本提携</td> <td>その他提携</td> </tr> </table> <p>&lt; 具体的な内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国における日系中小企業の会計事情把握。(日本本社から見た課題など含む)</li> <li>・i 財務会計の特徴説明と日本本社向けの連動システム(当社開発)サービスの販売。</li> <li>・連動システムから生まれる付加価値(サポートサービス、開発、保守運用)ビジネス連携による当社関連サービスメニュー(リスクマネージメントサービス、中国オフショア開発体験研修、人材育成ビジネス、オフショア開発支援)の提供が可能になります。</li> <li>・新規顧客の開拓につながる。(横展開)</li> </ul> <p>アライアンス対象の相手企業のメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地の会計担当者が中国語で入力したデータを日本語の財務諸表で見ることができます。</li> <li>・日本語翻訳コストがかかりません。</li> <li>・中国現地法人と日本本社の会計情報 GAP がなくなります。</li> <li>・付加価値サポートサービスにより現地法人への適切なアドバイスが可能です。</li> <li>・自社又は得意先にサービスを提供することが可能です。</li> </ul>		〔 3 〕	〔 2 〕	〔 〕	〔 1 〕	販売提携	技術提携	資本提携	その他提携
〔 3 〕	〔 2 〕	〔 〕	〔 1 〕						
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携						

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

平成 21 年度 第 68 回 (平成 21 年 5 月 19 日実施)

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社ネットプレナー  
 住 所：〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 1-8-8 青葉ビル 3F  
 T E L：03-3965-4420  
 U R L：<http://netpreneur.co.jp/>  
 設 立 年 月 日：2004 年 10 月 22 日  
 資本金(百万円)：10 百万円  
 従 業 員 数：11 名  
 事 業 内 容：システム開発事業、コンサルティング事業

### アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類

・SI 企業向け高性能データベース自動構築ツール / 『EA-RAD』

プレゼンテーションテーマ

・「EA-RAD」事業におけるアライアンスのご提案

プレゼンテーション概要

弊社の会社概要をご紹介した後、システム構築をめぐる諸問題についてご説明し、その解決策として弊社が提供する SI 企業向け高性能データベース自動構築ツール「EA-RAD」をご紹介します。そして、「EA-RAD」事業においてアライアンスを組むメリットをご説明し、交流会参加者の皆さまへ資本提携と販売提携を募ります。

プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を〔 〕内にご記入ください)

〔 2 〕

〔 3 〕

〔 1 〕

〔 4 〕

販売提携

技術提携

資本提携

その他提携

< 具体的な内容 >

「EA-RAD」の ASP 移植に必要となる開発費調達を目的とした資本提携と、大手 SI 企業および海外市場への販路拡大を目的とした販売提携を重点的に募りたいと考えております。

アライアンス対象の相手企業のメリット

・即時に期待される効果

製品の開発革新に貢献、業務分析への活用、相互の代理店契約によるシェア拡大

・「EA-RAD」ASP 化により期待される効果

ASP 販売による安定収益源の確保、e-Learning による副次収益

・「EA-RAD」世界標準化で期待される効果

システム構築のリーディングカンパニーになれる、新興国市場におけるイニシアチブ確保、株式保有による含み益増加

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

平成 21 年度 第 68 回 (平成 21 年 5 月 19 日実施)

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：ニューロネット株式会社  
住 所：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 4-1-24 オフィスイワタ第一 2F  
T E L：03-3202-2992  
U R L：<http://neuronet.co.jp/>  
設 立 年 月 日：2002 年 4 月  
資本金(百万円)：10 百万円  
従 業 員 数：3 名  
事 業 内 容：Web コラボレーション SaaS サービス「SaasBoard」の運営、新規事業起  
業・ビジネススタートアップコンサルティング、グローバルビジネス経営  
人材育成教育訓練

### アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類

・ SNS 型コラボレーション SaaS サービス『SaasBoard』

プレゼンテーションテーマ

絵を描く,文章を書く,写真や音楽,動画を貼る,自由に並べる,みんなで作る,SaaSBoard  
で Web コラボレーション.

プレゼンテーション概要

離れた場所の複数の人たちが SaasBoard と Skype を使い、絵を描く、文章を書く、写真  
や音楽、動画を貼るなどしながら、遠隔コラボレーション/遠隔ミーティングを手軽に行え  
る事をデモします。教育機関の遠隔講義、企業の遠隔会議、クリエイティブワーク支援、  
社内 SNS、などへの支援環境としての機能をご紹介します。

プレゼンテーションの目的(ご希望の提携の優先順位 1~4 を〔 〕内にご記入ください)

〔 1 〕

〔 2 〕

〔 3 〕

〔 〕

販売提携

技術提携

資本提携

その他提携

<具体的な内容>

- ・ 大学、予備校、その他教育機関へ、より広範囲に販売協力頂ける企業
- ・ 遠隔会議支援 SaaS サービス、社内 SNS サービスとして広範囲に販売協力頂ける企業
- ・ 当社のサービス/技術を組み込み、自社の事業として事業展開を図っていただける企業
- ・ ベンチャー企業の当社へコーポレートベンチャーキャピタルとして資金支援頂ける企業

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・ 販売協力による売上増加機会の獲得
- ・ 技術提携による先進技術投資ならびに開発投資の節減
- ・ 資本提携による成長事業への投資機会の獲得

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

平成 21 年度 第 68 回 (平成 21 年 5 月 19 日実施)

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：アイビーシー株式会社  
 住 所：〒104-0033 東京都中央区新川 1-25-2 新川 ST ビル 3F  
 T E L：03-5117-2780  
 U R L：<http://www.abc21.co.jp/>  
 設 立 年 月 日：2002 年 10 月 16 日  
 資本金(百万円)：91.5 百万円  
 従 業 員 数：21 名  
 事 業 内 容：ネットワークシステム性能監視ツールの開発・販売・サポート、ネットワ  
 ーク性能評価サービス、ネットワークシステムの設計・構築、コンサルテ  
 ィング

### アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類

- ・ネットワークシステム性能監視ツール

プレゼンテーションテーマ

- ・ネットワークインフラの性能情報把握による設備投資の最適化およびサービス事業化

プレゼンテーション概要

- ・ネットワークシステム性能監視製品「System Answer」の製品説明および事例紹介

プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を〔 〕内にご記入ください)

〔 1 〕

〔 3 〕

〔 4 〕

〔 2 〕

販売提携

技術提携

資本提携

その他提携

< 具体的な内容 >

- ・ System Answer を利用した ASP サービスなど付加価値サービス提供および事業提携

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・ System Answer の販売によりビジネス機会の創出

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 69 回 (平成 21 年 6 月 16 日実施)**

プレゼンテーション企業会社概要									
会 社	名：株式会社ケイアンドアイインターナショナル								
住 所	〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-15-19 アイオス目黒駅前ビル 81053 West 36th St., New York , NY10018 (開発センタ)								
T E L	：03-5789-4130								
U R L	： <a href="http://www.kandi-int.com/">http://www.kandi-int.com/</a>								
設 立 年 月 日	：2000 年 1 月								
資 本 金 (百 万 円)	：25 百万円								
従 業 員 数	：5 名								
事 業 内 容	：ソフトウェア開発・販売、米国ソフトウェア販売、海外 IT 動向分析・レポート								
アライアンスビジネス交流会発表内容									
<p>プレゼンテーションする製品・サービスの分類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ連携&amp;MDM ( Master Data Management )</li> </ul> <p>プレゼンテーションする製品・サービス名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・K&amp;I eIDM フレームワーク ( Enterprise Integrated Data Management )</li> </ul> <p>プレゼンテーションテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・eIDM フレームワークの狙い、コンセプト、機能のご紹介</li> </ul> <p>プレゼンテーション概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分散する企業データを“集め”、“貯え”、“創る”ための新しいソリューション</li> <li>・金融パッケージ、会計パッケージ、CRM、DWH、MDM 等から多目的に利用</li> <li>・既存システムとの簡易なインテグレーション、簡略化された高速トランスフォーム処理、データレポジトリの構築、等、革新的なテクノロジーの採用</li> </ul> <p>プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を [ ] 内にご記入ください)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">[ 1 ]</td> <td style="width: 25%;">[   ]</td> <td style="width: 25%;">[   ]</td> <td style="width: 25%;">[   ]</td> </tr> <tr> <td>販売提携</td> <td>技術提携</td> <td>資本提携</td> <td>その他提携</td> </tr> </table> <p>&lt; 提携の具体的な内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・eIDM の販売店募集 (OEM / リセーラセールス及び導入サポート)</li> </ul> <p>アライアンス対象の相手企業のメリット</p> <p>弊社と提携していただくことで下記のメリットが得られます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提携先パッケージビジネスの付加価値増大 (金融パッケージ、会計パッケージ、CRM 等)</li> <li>・今後大きな市場が予測されるデータ連携&amp;MDM 分野での SI ビジネスの確立</li> <li>・アダプタのような特殊テクノロジーを使用しないため一般的な IT エンジニアによる導入が可能</li> </ul>		[ 1 ]	[   ]	[   ]	[   ]	販売提携	技術提携	資本提携	その他提携
[ 1 ]	[   ]	[   ]	[   ]						
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携						

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

平成 21 年度 第 69 回 (平成 21 年 6 月 16 日実施)

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社ヴィパーク  
住 所：〒101-0043 東京都千代田区神田富山町 1-2 TKK ビル  
T E L：03-3252-8844  
U R L：<http://www.vivouac.co.jp/>  
設 立 年 月 日：2002 年 7 月  
資本金(百万円)：15 百万円  
従 業 員 数：4 名  
事 業 内 容：ソフトウェア開発

### アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類

- ・ BI システム構築ツール

プレゼンテーションする製品・サービス名

- ・ Cube Walker

プレゼンテーションテーマ

- ・ 多次元データベース対応、OLAP システム構築ツールのご紹介

プレゼンテーション概要

マイクロソフト社製多次元データベース「SQL サーバー分析サービス」を分析エンジンとし、とても使いやすく親しみやすいユーザインターフェイスの OLAP システムが構築できる開発ツールをご紹介します。

プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を [ ] 内にご記入ください)

[ 1 ]                      [ 2 ]                      [    ]                      [    ]  
販売提携                      技術提携                      資本提携                      その他提携

< 提携の具体的な内容 >

- ・ 安価で高性能な BI システムの構築をお考えなら、当社製品をぜひご検討下さい。
- ・ パッケージ製品のオプションとして多次元データ分析機能の開発をご検討であれば、UI 部分の開発ツールとして是非ご検討下さい。

アライアンス対象の相手企業のメリット

これまでになかった「ユーザが直感的に操作でき、分かりやすい」多次元データ分析システム (製品) を安価かつ簡単に開発できます。

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 69 回 (平成 21 年 6 月 16 日実施)**

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社テクノブレーン  
 住 所：〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町 5-85  
           明治安田生命ラジオ日本ビル 10F  
 T E L：045-242-7351  
 U R L：<http://www.tbn.co.jp/>  
 設 立 年 月 日：1993 年 1 月  
 資本金(百万円)：20 百万円  
 従 業 員 数：65 名  
 事 業 内 容：(1)事務系・制御系アプリケーションの設計・開発、(2)ネットワーク設計・  
           インフラ構築、(3)トータルソリューション事業、(4)各種パッケージソフト  
           の開発・販売、(5)特定派遣事業(厚生労働大臣許可: (特) 14-300757)

### アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類

- ・WEB システム開発ツール

プレゼンテーションする製品・サービス名

- ・J-WARP

プレゼンテーションテーマ

- ・EXCEL シートを即時に WEB 化し共有する、WEB システムを 1 日で構築する。

プレゼンテーション概要

- ・WEB アプリケーション開発ツール J-WARP の製品説明及び事例紹介  
EXCEL シートの WEB 化という簡単な利用法から本格的な WEB システム開発まで可能。

プレゼンテーションの目的(ご希望の提携の優先順位 1~4 を〔 〕内にご記入ください)

〔 2 〕	〔 3 〕	〔 4 〕	〔 1 〕
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

< 提携の具体的な内容 >

- ・WEB アプリケーションの低コスト開発とパッケージ化(弊社にて開発を担当し、提携先企業様に業務ノウハウをご提供頂く等)
- ・WEB システム開発案件での技術提携

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・調達コスト削減、自動生成によるシステム品質の向上。
- ・パッケージ化したシステムのライセンス販売による売上機会の創出。



## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 69 回 (平成 21 年 6 月 16 日実施)**

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社メディビック  
 住 所：〒105-0003 東京都港区西新橋 2-11-6 ニュー西新橋ビル 5F  
 T E L：03-6744-2554  
 U R L：<http://www.medibic.com/>  
 設 立 年 月 日：2000 年 2 月 17 日  
 資本金(百万円)：10 百万円  
 従 業 員 数：11 名  
 事 業 内 容：バイオマーカー創薬支援事業（システム開発含む）、テラーメイド健康  
 管理支援事業

### アライアンスビジネス交流会発表内容

#### プレゼンテーションする製品・サービスの分類

- ・製造系研究開発現場向け実験情報管理データベース及びシミュレータ

#### プレゼンテーションする製品・サービス名

- ・MDSS 配合設計データベース

#### プレゼンテーションテーマ

システム化が未成熟な製造分野の研究開発を対象とした、技術データベースおよび解析シミュレータのご紹介

#### プレゼンテーション概要

株式会社メディビックの会社概要、および『MDSS 配合設計データベース』の商品内容についてご説明致します。原料・プロセス・評価という3軸の情報を登録するデータベース、さらに登録した情報を用いて簡単に重回帰モデルによる解析・シミュレーションが行えるシステムです。未だシステム化が浸透していない研究開発現場を主な対象とし、積極的に提案・導入を進めていきたいと考えております。

プレゼンテーションの目的（ご希望の提携の優先順位 1~4 を〔 〕内にご記入ください）

〔 1 〕	〔 2 〕	〔 3 〕	〔 4 〕
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

#### < 提携の具体的な内容 >

マーケティングおよびターゲティングを含めたパッケージソフトウェア拡販に向けての営業パートナーとの提携を目的としております。

#### アライアンス対象の相手企業のメリット

弊社とのアライアンスを結ぶことにより、代理店としての販売収益を挙げて頂くことを主なメリットと致します。さらに、製造・化学系の研究開発現場向けとして、当製品のカスタマイズを起点に、インフラ/システム開発案件が期待されるため、その受け皿として協力体制を築きたいと考えております。

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

平成 21 年度 第 70 回 (平成 21 年 7 月 14 日実施)

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：NEC ネットエスアイ株式会社  
 住 所：〒140-8620 東京都品川区東品川一丁目 39-9  
 T E L：03-5463-7412  
 U R L：<http://www.nesic.co.jp/>  
 設 立 年 月 日：1953 年 11 月 26 日  
 資本金(百万円)：131 億 22 百万円 (2009 年 3 月 31 日現在)  
 従 業 員 数：4154 名 (2009 年 3 月 31 日現在)  
 事 業 内 容：ネットワークシステムに関する、企画・コンサルティングや設計・構築な  
 どサービスの提供、および国内約 300 ヶ所の保守サービス拠点による 24  
 時間 365 日対応の保守・運用、監視サービスの提供。

### アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類

・ SaaS モデルによる音声 (電話) 連携機能

プレゼンテーションする製品・サービス名

・ 音声 SaaS サービス

プレゼンテーションテーマ

・ 『音声 SaaS サービス』によるアライアンスビジネスのご提案

プレゼンテーション概要

ASP・SaaS などの IT 系サービスと、当社の『音声 SaaS サービス』とを連携することで、既存サービスに対して音声 (電話) による付加価値を加えることができます。機能の詳細と、連携による具体的な事例を交えてご説明させて頂き、サービス連携によるアライアンスを実現したいと考えております。

プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を [ ] 内にご記入ください)

[ ]                      [ 1 ]                      [ ]                      [ ]  
 販売提携                      技術提携                      資本提携                      その他提携

< 提携の具体的な内容 >

・ IT 系サービスと当社が提供する音声 SaaS サービスの SOAP-API による機能連携

アライアンス対象の相手企業のメリット

既存サービスに対して『音声 (電話)』という付加価値機能を加え、サービスを拡張できるメリットがあると考えております。

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 70 回 (平成 21 年 7 月 14 日実施)**

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社インターコム  
 住 所：〒110-8654 東京都台東区台東 1-3-5 反町ビル 3F  
 T E L：03-3839-6307  
 U R L：<http://www.intercom.co.jp/>  
 設 立 年 月 日：1982 年 6 月 8 日  
 資本金(百万円)：84 百万円  
 従 業 員 数：128 名  
 事 業 内 容：通信、セキュリティ、ユーティリティ関連ソフトウェア・パッケージの企画・開発・販売、インターネットによる EC ショップと ASP サービスの運営。

### アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類  
 ・サポートセンター、ヘルプデスク向けリモートサポートツール

プレゼンテーションする製品・サービス名  
 ・LAPLINK ASP2

プレゼンテーションテーマ  
 ・ユーザーサポート業務を大幅に効率化する A S P タイプのリモートコントロールソフト

**プレゼンテーション概要**  
 冒頭に会社紹介をした後、資料ベースに商品紹介を行います。ここでは機能や導入メリット、他社との比較などを説明します。その後デモを行い、質疑応答後終了となります。

プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を [ ] 内にご記入ください)  
 [ 1 ]                      [ 3 ]                      [ 4 ]                      [ 2 ]  
 販売提携                      技術提携                      資本提携                      その他提携

< 提携の具体的な内容 >  
 販売代理店を広く募集いたします。

**アライアンス対象の相手企業のメリット**  
 ・コールセンター、ヘルプデスク向けソリューションの付加価値として利用可能。  
 ・自社ソフトウェア、ソリューションのサポートツールとして利用いただく事でそのソフトウェア及びソリューションの付加価値につながります。

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 70 回 (平成 21 年 7 月 14 日実施)**

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社スマイルワークス  
 住 所：〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-5-2 BUREX 麹町 7F  
 T E L：03-5210-3712  
 U R L：<http://www.smile-works.co.jp/>  
 設 立 年 月 日：2003 年 7 月  
 資本金(百万円)：10 百万円  
 従 業 員 数：52 名 (平成 20 年 4 月時点: SWX グループ合計)  
 事 業 内 容：サービス事業向けの情報システム及びサービスの提供・事業企画開発・プロジェクトマネジメントサービス・EC・CRM などセールス&マーケティングシステム・システム開発・運用サービス

### アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類

・ SaaS 型統合業務システムソリューション

プレゼンテーションする製品・サービス名

・ ClearWorks シリーズ (会計ワークス・販売ワークス・給与ワークス)

ClearWorks for J-SaaS (会計ワークス・販売ワークス・給与ワークス)

プレゼンテーションテーマ

ClearWorks (会計ワークス・販売ワークス・給与ワークス) のご紹介と販売パートナープログラムのご案内。カスタマイズおよびシステム連携・OEM 供給についてもご案内します。

プレゼンテーション概要

ClearWorks のご説明を、デモンストレーションを交えながら行います。弊社商品 & サービスをご拡販いただける、販売パートナーの募集についてもご案内いたします。

プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を [ ] 内にご記入ください)

[ 1 ]

[ 3 ]

[ 2 ]

[ 4 ]

販売提携

技術提携

資本提携

その他提携

< 提携の具体的な内容 >

弊社の販売パートナーとなっただけの企業を募集いたします。

経済産業省が推進する SaaS 基盤整備事業「J-SaaS」にも提供している SaaS 型統合業務ソリューション ClearWorks シリーズと弊社提供システム & サービスを販売いただく事により、継続的な売上収益を確保いただくことが可能です。

初期設定費用と月額 (or 年額) のご利用料金の一部を貴社の利益として継続的に還元いたします。

アライアンス対象の相手企業のメリット

・ 弊社製品拡販における継続的な売上収益の確保

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 70 回 (平成 21 年 7 月 14 日実施)**

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社ネオジャパン  
 住 所：〒220-8110 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-2-1  
           横浜ランドマークタワー 10F  
 T E L：045-640-5910  
 U R L：<http://www.desknets.com/>  
 設 立 年 月 日：1992 年 2 月 29 日  
 資本金(百万円)：99 百万円  
 従 業 員 数：82 名  
 事 業 内 容：パッケージソフトの開発、及び販売、コンサルティングからアプリケーション・システムの企画 / 設計 / 開発、ネットワークインフラ構築等、システムにかかわるあらゆるサービスを統合的に提供

### アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類

・グループウェア (パッケージでの提供と SaaS での提供)

プレゼンテーションする製品・サービス名

・desknet's (デスクネッツ) - パッケージ提供。Applitus (サービス名) - SaaS での提供

プレゼンテーションテーマ

・価格、製品力に特化したグループウェアのご紹介

プレゼンテーション概要

100 年に一度と言われる不況をどのように乗り切るか?ただコストを抑えるよりも必要なシステムをいかに活用し、コスト削減ができるか。グループウェアをフルに活用する事でコスト削減と業務効率の向上を実現するグループウェアのご紹介

プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を [ ] 内にご記入ください)

[ 1 ]                      [    ]                      [    ]                      [ 2 ]  
 販売提携                      技術提携                      資本提携                      その他提携

< 提携の具体的な内容 >

desknet's の拡販を行って頂ける会社を募集。また自社製品との組み合わせでの販売も提案できる会社を募集しています。

アライアンス対象の相手企業のメリット

desknet's の実績として、2009 年 3 月時点で 228 万ユーザがご利用頂いています。このユーザに対しての連携製品として自社製品をアピールすることができます。また、新規ユーザに対しては、desknet's と一緒に自社製品の導入もアピールすることが可能になります。

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 71 回 (平成 21 年 9 月 15 日実施)**

プレゼンテーション企業会社概要
<p>会 社 名：Witsign (ウィット・サイン) 株式会社            住 所：〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-10 花菱平河町ビル 4F            T E L：03-5213-0775            U R L：<a href="http://witsign.com/">http://witsign.com/</a>            設 立 年 月 日：2006 年 5 月 1 日            資本金(百万円)：3 百万円            従 業 員 数：5 名            事 業 内 容：ウェブコンテンツアクセス管理製品 WitGuide とルールエンジン製品 Witmate の開発・販売</p>
アライアンスビジネス交流会発表内容
<p>プレゼンテーションする製品・サービスの分類            ・ウェブコンテンツ制御</p> <p>プレゼンテーションする製品・サービス名            ・WitGuide (ウィット・ガイド)</p> <p>プレゼンテーションテーマ            ・WitGuide (ウィット・ガイド) 新次元 Web コンテンツ制御・ソリューション</p> <p>プレゼンテーション概要            WitGuide の SSO (シングルサインオン) コンテンツアクセス制御及びコンテンツ置換機能を説明し、製品の優位性を紹介します。最後に簡単なデモを実施する。</p> <p>プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を [ ] 内にご記入ください)            [ 1 ]                      [ 4 ]                      [ 3 ]                      [ 2 ]            販売提携                      技術提携                      資本提携                      その他提携</p> <p>&lt; 提携の具体的な内容 &gt;            他社の製品やサービスと連携することより、お互いの製品の付加価値を向上させ、販売拡大に貢献できる。また、技術提携で新しい製品やサービスを提供できる。</p> <p>アライアンス対象の相手企業のメリット            アライアンス対象企業様の製品にない機能やサービスを提供でき、その製品の販売拡大に繋がる。</p>

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

平成 21 年度 第 71 回 (平成 21 年 9 月 15 日実施)

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：トライポッドワークス株式会社  
住 所：〒980-0811 仙台市青葉区一番町 1-1-41 カメイ仙台中央ビル 7F  
T E L：022-227-5680  
U R L：<http://www.tripodworks.co.jp/>  
設 立 年 月 日：2005 年 11 月 21 日  
資本金(百万円)：42.9 百万円  
従 業 員 数：16 名  
事 業 内 容：セキュリティ製品開発、組込みミドルウェア開発

### アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類

・電子メールのセキュリティ製品

プレゼンテーションする製品・サービス名

・BitSCREEN for Mail (ビットスクリーン フォー メール)

プレゼンテーションテーマ

・導入・運用が容易なメールフィルタリング・アプライアンスのご紹介

プレゼンテーション概要

当製品は、電子メールの情報漏洩対策に必要な、フィルタリング機能、ログ・アーカイブ機能をシンプルに統合したアプライアンスで、オンラインストレージ「GIGAPOD」との連携により、これまで不可能だった大容量ファイルの添付送信も可能となります。これまでの電子メールの限界を超え、セキュリティと利便性をバランス良く向上させる画期的なソリューションです。

プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を [ ] 内にご記入ください)

[ 1 ]

[ 2 ]

[ 3 ]

[ 4 ]

販売提携

技術提携

資本提携

その他提携

< 提携の具体的な内容 >

当製品の販売パートナーと、他製品との連携によるソリューション開発を共同で行って頂ける開発パートナーとの提携を希望します。また、今後の販路拡大や製品開発を見据え、資本提携や増資についても考えております。

アライアンス対象の相手企業のメリット

弊社は、内部統制・情報漏洩対策に必要な電子メールセキュリティ製品、Web セキュリティ製品を開発しております。電子メールや Web セキュリティの分野は今後マーケットが急拡大することが見込まれており、弊社とアライアンスを組んで頂くことで、本マーケットを共同で開拓できることが見込まれます。

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

平成 21 年度 第 71 回 (平成 21 年 9 月 15 日実施)

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：ゾイックス株式会社  
住 所：〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 20 - 7 ITO ビル  
T E L：03-3249-1571  
U R L：<http://www.zoiccs.co.jp/>  
設 立 年 月 日：1977 年 4 月 28 日  
資本金(百万円)：148 百万円  
従 業 員 数：25 名  
事 業 内 容：金融情報サービス事業

### アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類

- ・XBRL データ活用ソリューション

プレゼンテーションする製品・サービス名

- ・「Z-API」「SpreadSheet Solution for XBRL」

プレゼンテーションテーマ

- ・情報開示用の FR(Financial Reporting)としての XBRL データ活用提案

プレゼンテーション概要

ゾイックス情報デザインソリューション「ID'z」のコンセプトを少し説明し、その後今回のメインテーマである「Z-API」「SpreadSheet Solution for XBRL」の概要説明及び「SpreadSheet Solution for XBRL」のデモを行う

プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を [ ] 内にご記入ください)

{ 1 }	{ 2 }	{ }	{ }
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

< 提携の具体的な内容 >

- ・「SpreadSheet Solution for XBRL」の販売提携
- ・「Z-API」「SpreadSheet Solution for XBRL」のシステム組込

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・XBRL データを活用するソリューションの先行且つ定着で市場確保



## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

平成 21 年度 第 71 回 (平成 21 年 9 月 15 日実施)

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社サイズ  
住 所：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 6-35-3 コープオリンピア 704  
T E L：03-5766-3639  
U R L：<http://www.x-yz.co.jp/>  
設 立 年 月 日：2008 年 7 月 1 日  
資本金(百万円)：19 百万円  
従 業 員 数：4 名  
事 業 内 容：Web 制作・XML CMS 開発・販売

### アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類

・Web 用 XML CMS

プレゼンテーションする製品・サービス名

・XML CMS - Web Meister

プレゼンテーションテーマ

・W3C の理想を体現し、DITA 対応を目指す XML CMS 「Web Meister」

プレゼンテーション概要

デザインとコンテンツの分離、コンテンツの構造化を行い、W3C の理想を体現している XML CMS 「Web Meister」、DITA 対応により Semantic Web を目指す。

プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を [ ] 内にご記入ください)

[ 2 ]

[ 1 ]

[ 3 ]

[ 4 ]

販売提携

技術提携

資本提携

その他提携

< 提携の具体的な内容 >

・XML インポート・エクスポートによる製品連携と販売提携

アライアンス対象の相手企業のメリット

本格化が開始した Web コンテンツの XML 化。日本で唯一の本格的 XML CMS との連携により新市場の開拓を共同で行うことができます。

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 72 回 (平成 21 年 10 月 20 日実施)**

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社ビーブレイクシステムズ  
 住 所：〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-19-3 五反田第一生命ビル  
 T E L：03-5487-7855  
 U R L：<http://www.bbreak.co.jp/>  
 設 立 年 月 日：2002 年 7 月  
 資 本 金 (百 万 円)：60 百万円  
 従 業 員 数：94 名 (2009 年 6 月末時点)  
 事 業 内 容：1. 業務管理システム MA-EYES (エムエーアイズ) の開発・販売・導入  
           2. 法人向け業務システム構築の一括受託  
           3. システム開発における技術支援

### アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類  
 ・プロジェクト管理を中心とした業務管理システム

プレゼンテーションする製品・サービス名  
 ・MA-EYES (エムエーアイズ)

プレゼンテーションテーマ

・プロジェクトの現場が抱える様々な課題とそれらを解決する為の高度なプロジェクト管理方法について

プレゼンテーション概要

弊社製品 MA-EYES はプロジェクトの営業見積段階から納品・PJ 完了までの業務工程を一気通貫で一元的に管理できるシステムとして、IT 関連業界、コンサルタント業界、広告業界などを中心に高い評価を頂いております。プレゼンテーションではプロジェクトの現場が抱える課題とそれらを解決するためにシステムに求められる要件、そして MA-EYES が如何にしてその要件にしているかを実際の導入事例を交えてご紹介致します。また、パートナー企業様との提携による実際の導入の事例のご紹介や、提携の具体的な方法も合わせてご紹介させていただきます。

プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を [ ] 内にご記入ください)

[ 1 ]                      [    ]                      [    ]                      [    ]  
 販売提携                      技術提携                      資本提携                      その他提携

< 提携の具体的な内容 >

弊社の製品を販売して頂けるパートナー企業様の募集が第一の目的です。プロジェクト管理に特化している製品は世の中にそれほど多く無い為、お客様とコンタクトを取る機会さえあれば潜在的なニーズはかなり大きい分野です。その為、直販の営業だけではコンタクトの取れないお客様へのチャンネルをお持ちのパートナー様と共に営業をさせて頂くことで、潜在ニーズを掘り起こしていければと考えております。パートナー様のお客様へ MA-EYES をご紹介することで、パートナー様のビジネスも拡大するような、相乗効果を発揮できるような関係を築きたいと考えております。

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・MA-EYES という商材によりこれまで見過ごしてきた既存顧客のニーズを商機に変えることが可能となります。
- ・MA-EYES という商材によりこれまでアプローチしてこなかった新しい業種や分野へビジネスのフィールドを広げることが可能となります。
- ・MA-EYES は財務会計システム等の他システムとの連携を前提としている為、パートナー様の開発システムやお持ちの製品などと合わせて、より魅力的な提案を可能とすることが期待できます。

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 72 回 (平成 21 年 10 月 20 日実施)**

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：アドバンスデザイン株式会社  
 住 所：〒210-0854 神奈川県川崎市川崎区浅野町 4-13  
 T E L：044-333-3935  
 U R L：<http://www.a-d.co.jp/>  
 設 立 年 月 日：1995 年 6 月 16 日  
 資本金(百万円)：364.6 百万円  
 従 業 員 数：27 名  
 事 業 内 容：ハードディスク等のデータ復旧、データ消去

### アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類

・情報漏洩防止・データ完全消去製品

プレゼンテーションする製品・サービス名

・DataSweeper Handy

プレゼンテーションテーマ

・DataSweeper Handy で変わる、データ完全消去と信頼できる消去業務。

プレゼンテーション概要

DataSweeper Handy のデモを中心に、小型軽量の本体によるオンサイト消去作業の利便性の向上、DoD、NSA をはじめとした世界標準 8 消去方式、全 13 消去方式による最高水準の消去能力、信頼性の高い消去証明書の発行機能により、PC リサイクル、機密情報漏洩防止などのデータ消去業務の新しい世界を提案します。

プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を〔 〕内にご記入ください)

〔 1 〕

〔 〕

〔 〕

〔 2 〕

販売提携

技術提携

資本提携

その他提携

< 提携の具体的な内容 >

販売提携による販路拡大。

アライアンス対象の相手企業のメリット

・データセキュリティに関心の高い顧客企業に対し、優れた商品の提供による満足度の向上。

・DataSweeper を扱うことによるビジネスの拡大。相乗効果による売り上げの増加。

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 72 回 (平成 21 年 10 月 20 日実施)**

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：ビジネスオンライン株式会社  
 住 所：〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-14-6 セルバ人形町 4F  
 T E L：03-5649-9056  
 U R L：<http://www.bol-net.co.jp/>  
 設 立 年 月 日：2000 年 3 月 15 日  
 資本金(百万円)：318.83 百万円 (2009 年 4 月現在)  
 従 業 員 数：25 名  
 事 業 内 容：業務ソフトウェアの ASP/SaaS サービス、クラウド技術によるソフトウェアの開発・販売・保守、ソフトウェアの受託開発

### アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類

・財務会計クラウド

プレゼンテーションする製品・サービス名

・GLOBALANCE (グローバルランス)

プレゼンテーションテーマ

・大企業・中堅企業向け「財務会計クラウドソリューション」における協業のご提案

プレゼンテーション概要

当社が中小企業向けにサービスしている会計 SaaS「ネット de 会計」について、昨今、同ソフトウェアを、大企業・中堅企業の会計処理のフロントエンドで利用する、或いはクラウドソリューションとして利用いただくケースが増えています。同ソリューションについて、販売、導入、或いはカスタマイズ対応などの SI サービスを協業していただくソフト会社様、SI 会社様とのパートナーシップを現在形成中です。当日は、ソリューションの概要と実際のビジネスイメージや、パートナーシップの概要についてご説明させていただきます。

プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を〔 〕内にご記入ください)

〔 1 〕	〔 2 〕	〔 〕	〔 〕
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・既存顧客に対するクラウドソリューションの提案が可能になる。
- ・SI からクラウドビジネスに移行することで、収益基盤を安定化させることができる。
- ・案件開発については、当社からも期待できる。

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 72 回 (平成 21 年 10 月 20 日実施)**

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：有限会社インディーロム  
 住 所：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1 - 4 - 6 ニュー青山ビル 403 号  
 T E L：03-5774-6851  
 U R L：<http://www.indierom.co.jp/>  
 設 立 年 月 日：平成 6 年 (1994 年) 9 月 21 日  
 資本金(百万円)：3 百万円  
 従 業 員 数：8 名  
 事 業 内 容：コンピュータソフトウェアの企画・制作・開発、出版物の企画・制作・販売、音楽ソフトウェアの企画・制作・販売、受託調査の企画・制作及び調査出版物の販売、著作権の管理・運用・販売、その他上記事業に付帯する一切の事業

### アライアンスビジネス交流会発表内容

プレゼンテーションする製品・サービスの分類

- ・SaaS 型 e ラーニング研修サービス

プレゼンテーションする製品・サービス名

- ・ドリルメーカー

プレゼンテーションテーマ

- ・“ドリルメーカー”を利用した新たなビジネスモデルのご提案

プレゼンテーション概要

“ドリルメーカー”は、研修現場の声から生まれた SaaS 型の e ラーニングサービスです。従来型 e ラーニングと比べ、お客様側のサーバが不要なため、導入・維持コストが大幅に削減できること、お客様側での設問作成、出題設定、成績管理・分析など自由度が高いこと、携帯電話や iPhone から受講できることなど、様々なメリットとビジネスへの応用可能性を有した次世代型のサービスです。従来からの LMS 導入企業においては、Flash 等を用いたリッチ・コンテンツの e ラーニング教材と併用し、“ドリルメーカー”による理解度チェックドリルを実施することで、より高い学習効果が期待されます。非正規雇用社員の比重が高まる中、現在もっとも求められている教育研修スタイルは、携帯電話を活用したものです。“ドリルメーカー”は、携帯電話や iPhone に標準対応しているため、パート・アルバイト、外国人スタッフの方々向けの研修をすぐにスタートすることができます。また、人材教育コンサルティング企業においては、ドリルメーカーを活用することで、講師の著書をベースにしたオリジナル教材の開発が短期間・低コストで出来ます。しかもスポット利用も可能なため、集合研修・セミナーのフォローアップ理解度ドリルとして大変導入しやすくなっています。そのほか、検定ビジネスへの応用など、多様なビジネスへの活用・展開の可能性を持った“ドリルメーカー”の販売提携先、ビジネスモデル構築の提携先を広く募集します。どうぞ宜しくお願い致します。

プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を [ ] 内にご記入ください)

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| [ 1 ] | [ 4 ] | [ 3 ] | [ 2 ] |
| 販売提携  | 技術提携  | 資本提携  | その他提携 |

< 提携の具体的な内容 >

- ・「ドリルメーカー」の販売代理店様の募集
- ・「ドリルメーカー」のシステム、仕組みを応用した新ビジネスの協同企画、事業展開
- ・「ドリルメーカー」専用教材の企画・開発

アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・販売代理店マージン
- ・新ビジネスの収益分配
- ・本サービス、システムを活用したビジネス商材の 2 次開発
- ・教材の著作権料

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

平成 21 年度 第 73 回 (平成 21 年 12 月 15 日実施)

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社オプティマ  
住 所：〒141-0032 東京都品川区大崎 3-5-2 エステージ大崎  
T E L：03-3493-3852  
U R L：<http://www.opt.co.jp/>  
設 立 年 月 日：1972 年 8 月 21 日  
資本金(百万円)：100 百万円  
従 業 員 数：314 名  
事 業 内 容：システムの受託開発、システムインテグレーション・サービス、パッケージ・ソフトウェアの開発と販売、コンピュータおよび周辺機器の販売、VAR (付加価値再販)、カスタマイズ、コンピュータ・システムの指導、教育

### アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
- ・デジタルサイネージ電子広告装置
- プレゼンテーションする製品・サービス名
- ・オプティマビジョン
- プレゼンテーションテーマ
- ・デジタルサイネージオプティマビジョンのご紹介と弊社各種プロダクトのご紹介
- プレゼンテーション概要
- ・デジタルサイネージ、高速検索エンジン、用度品発注管理システム、物流システム
- プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を〔 〕内にご記入ください)
- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 〔 1 〕 | 〔 2 〕 | 〔 4 〕 | 〔 3 〕 |
| 販売提携  | 技術提携  | 資本提携  | その他提携 |
- < 提携の具体的な内容 >
- ・弊社製品・ソフトウェアプロダクトの販売提携
- アライアンス対象の相手企業のメリット
- ・独特なパッケージを持っておりますのでラインナップの強化に貢献いたします。

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

### 平成 21 年度 第 73 回 (平成 21 年 12 月 15 日実施)

#### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：アカダマ株式会社  
 住 所：〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク 1 丁目 1 番 10 号  
 T E L：011-807-1005  
 U R L：<http://akadama.jp/>  
 設 立 年 月 日：2002 年 4 月 1 日  
 資本金(百万円)：50 百万円  
 従 業 員 数：2 名  
 事 業 内 容：コンピューターソフトウェア開発

#### アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類  
 ・ 中小企業向けクラウド・ストレージサービス
- プレゼンテーションする製品・サービス名  
 ・ アカダマ
- プレゼンテーションテーマ  
 ・ 「アカダマ」を活用した “クラウド・ビジネス” のすすめ  
 ~ 御社ブランドでスグに始める “クラウド・ストレージサービス” ~
- プレゼンテーション概要  
 ・ クラウド・コンピューティングシステムとしての「アカダマ」をご説明した上で、御社独自ブランドによるクラウド・ストレージサービスを、少ない初期投資とビジネスリスクで “スグ” に始めることが出来るビジネス・アライアンスをご提案します。
- プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を [ ] 内にご記入ください)  
 [ 3 ]                      [ 2 ]                      [    ]                      [ 1 ]  
 販売提携                      技術提携                      資本提携                      その他提携
- < 提携の具体的な内容 >  
 ・ 弊社管理の IDC に設置する 1 システムを購入いただくことを前提とし、保守・管理・運用を弊社が代行します。御社ロゴが表示されるクライアントアプリケーションも無償でご提供し、約 10 ユーザーの利用で初期投資・運用費が全てまかなえるビジネス・アライアンスです。
- アライアンス対象の相手企業のメリット  
 ・ 多大な初期投資なく、すぐに独自ブランドのクラウド・ビジネスを始めることができる  
 ・ 顧客データを保管することで、顧客の “囲い込み” 戦略ともなる

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 73 回 (平成 21 年 12 月 15 日実施)**

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社インフォセンス  
 住 所：〒104-0054 東京都中央区勝どき 6-5-23 山九ビル  
 T E L：03-3536-3439  
 U R L：<http://www.info-sense.co.jp/>  
 設 立 年 月 日：1989 年 4 月 1 日  
 資本金(百万円)：100 百万円  
 従 業 員 数：390 名 (2009 年 4 月現在)  
 事 業 内 容：ロジスティクス&IT ソリューション

### アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類  
 ・RFID アプリケーション及びサービス
- プレゼンテーションする製品・サービス名  
 ・RTI 管理システム、RFID 実証実験サービス、RFID 安全管理システム
- プレゼンテーションテーマ  
 ・RFID を活用した作業ソリューション
- プレゼンテーション概要  
 ・RTI 管理システム：RTI (物流容器) のトレースを可能とするシステム  
 ・RFID 実証実験サービス：国際物流で RFID を実際に使ってみたい企業向けの実験サービス  
 ・RFID 安全管理システム：セミアクティブタグを活用した様々な現場に摘要できるシステム
- プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を [ ] 内にご記入ください)  
 [ 1 ]                      [ 3 ]                      [    ]                      [ 2 ]  
 販売提携                      技術提携                      資本提携                      その他提携
- < 提携の具体的な内容 >  
 ・RFID システムについての協業先開拓
- アライアンス対象の相手企業のメリット  
 ・RFID をキーワードとした営業開拓  
 ・将来的な市場拡大が望める分野への進出



## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 73 回 (平成 21 年 12 月 15 日実施)**

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社ビズ・ロジック  
 住 所：〒141-0031 東京都品川区西五反田 8-2-5-6F  
 T E L：03-5434-5021  
 U R L：<http://www.bizlogic.co.jp/>  
 設 立 年 月 日：2001 年 3 月 16 日  
 資本金(百万円)：10 百万円  
 従 業 員 数：4 名  
 事 業 内 容：パッケージ・アプリケーション研究・開発・販売 / 情報検索技術の研究・開発

### アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類  
 ・情報共有環境 / 知識共有環境
- プレゼンテーションする製品・サービス名  
 ・PenséeNotes (パンセノート) 5.0
- プレゼンテーションテーマ  
 ・「情報だって繋がりたい」: 定型、非定型を問わず、独自のビジネス・コンテキスト機能で情報の潜在的な関連性を探し出し、地図状に可視化。かつてない情報共有環境のご紹介。
- プレゼンテーション概要  
 ・「今までに見たことがない」.....グループウェア、ナレッジマネジメント、ポータル、CRM、SFA、文書管理.....どれも属さず、しかし機能は包含した、不思議な PenséeNotes。「XML 文書 DB」と「ファイルシステム」をシームレスに一体化し、グループウェア機能も装備した、画期的な情報共有環境をご紹介します。
- プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を〔 〕内にご記入ください)  
 〔 1 〕                      〔    〕                      〔 3 〕                      〔 2 〕  
 販売提携                      技術提携                      資本提携                      その他提携
- < 提携の具体的な内容 >  
 ・貴社でお持ちの製品やサービスとの連携、OEM 提供など、様々な形での提携をご検討いただければと思っております。
- アライアンス対象の相手企業のメリット  
 ・貴社の強みを生かした、新しいソリューション製品として既存顧客への提案、新規開拓が可能となります。

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 74 回 (平成 22 年 2 月 16 日実施)**

プレゼンテーション企業会社概要									
会 社	名：株式会社サンクレエ								
住 所	〒060-0012 札幌市中央区北 12 条西 23 丁目 5 番地 SDC 北 12 条ビル 5 階								
T E L	：011-611-6364								
U R L	： <a href="http://www.suncreer.co.jp/">http://www.suncreer.co.jp/</a>								
設 立 年 月 日：1989 年（平成元年）9 月 28 日									
資 本 金 (百 万 円)：10 百 万 円									
従 業 員 数：15 名									
事 業 内 容：パッケージシステム開発・販売、システムサポート、消耗品（リサイクルトナー等の販売									
アライアンスビジネス交流会発表内容									
<p>プレゼンテーションする製品・サービスの分類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汎用販売管理パッケージ</li> </ul> <p>プレゼンテーションする製品・サービス名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・pieceworks 6 [ 一般向け・食品製造向け・印刷業向け ]</li> </ul> <p>プレゼンテーションテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カスタマイズ対応型、販売管理コアパッケージシステム「pieceworks」をベースに作らないビジネスモデルの確立を目指しております。「pieceworks」は汎用性の高いコアシステムをコンパクトに実現しております。豊富なパラメータを任意に設定する事によりユーザー様でも簡単にカスタマイズが可能です。帳票関連は Excel のテンプレートを変更する事でユーザー様でも簡単に帳票のカスタマイズが可能です。様々な業種・業態でご利用いただいております。「pieceworks」の汎用性は業種のみならず、マルチプラットフォーム、マルチデータベース、多言語にも柔軟に対応します。</li> </ul> <p>プレゼンテーション概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汎用「pieceworks 6」のご紹介と各業種別モジュールのご案内及び業種別展開構想及びアライアンスイメージの概要。</li> </ul> <p>プレゼンテーションの目的（ご希望の提携の優先順位 1～4 を〔 〕内にご記入ください）</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">〔 1 〕</td> <td style="width: 25%;">〔 3 〕</td> <td style="width: 25%;">〔 4 〕</td> <td style="width: 25%;">〔 2 〕</td> </tr> <tr> <td>販売提携</td> <td>技術提携</td> <td>資本提携</td> <td>その他提携</td> </tr> </table> <p>&lt; 提携の具体的な内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、業種別展開を進めています。業種ノウハウをお持ちの企業との製品開発及び販売に関するアライアンスを希望しております。</li> </ul> <p>アライアンス対象の相手企業のメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業種ノウハウをご提供いただければ業種対応版のモジュールを当社で開発いたします。短期間に販売可能な業種向けのソリューションをご提供可能になります。</li> </ul>		〔 1 〕	〔 3 〕	〔 4 〕	〔 2 〕	販売提携	技術提携	資本提携	その他提携
〔 1 〕	〔 3 〕	〔 4 〕	〔 2 〕						
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携						

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

平成 21 年度 第 74 回 (平成 22 年 2 月 16 日実施)

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名 : SOC 株式会社 東京支社  
住 所 : 〒105-0013 東京都港区浜松町 2 丁目 7-16 第 3 小森谷ビル  
T E L : 03-5777-6520  
U R L : <http://www.socnet.jp/>  
設 立 年 月 日 : 1979 年 4 月  
資 本 金 (百 万 円) : 20 百 万 円  
従 業 員 数 : 344 名  
事 業 内 容 : ソフトウェア開発

### アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
- ・人事管理パッケージ
- プレゼンテーションする製品・サービス名
- ・人事管理パッケージ (人事情報・給与計算・勤怠管理・人事評価策定ツール)
- プレゼンテーションテーマ
- ・人事管理に関する当社パッケージソフトのご紹介
- プレゼンテーション概要
- ・人事管理パッケージのご説明
- プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を [ ] 内にご記入ください)
- |      |      |      |       |
|------|------|------|-------|
| [ ]  | [ ]  | [ ]  | [ 1 ] |
| 販売提携 | 技術提携 | 資本提携 | その他提携 |
- < 提携の具体的な内容 >
- ・人事管理パッケージ販売に関する協業
- アライアンス対象の相手企業のメリット
- ・扱いプロダクトの拡充を図れます

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 74 回 (平成 22 年 2 月 16 日実施)**

### プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社ラピュール  
 住 所：〒003-0024 札幌市白石区本郷通 5 丁目南 4-33 南郷おがわビル 3F  
 T E L：011-868-8082  
 U R L：<http://www.lapure.co.jp/>  
 設 立 年 月 日：2000 年 12 月  
 資本金(百万円)：10 百万円  
 従 業 員 数：7 名  
 事 業 内 容：GIS(地理情報システム)開発、業務系システムの開発、web コンテンツ製作、各種データサービス

### アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類  
 ・顧客管理 GIS システム
- プレゼンテーションする製品・サービス名  
 ・GISWAY(ジス・ウェイ)
- プレゼンテーションテーマ  
 ・既存システムと GIS を融合
- プレゼンテーション概要  
 ・首都圏企業様が販売されている顧客管理システム等と弊社の GIS を融合させる事で、既存システムの利用価値を上げ、既存ユーザーに提案を行う事で新たなソリューションの機会が生まれます。  
 ・特に金融機関 / 保険会社 / 証券会社 / 小売分野 / ガス・水道分野 / 等の顧客データを持ちのユーザーとお付き合いされている企業様には有効と考えております。  
 ・当社の GIS は、完全自社によって開発された GIS エンジンですので、一般的な機能はもちろんの事、業務に特化した特殊機能や各種統集計等、エンドユーザーが求める多種多様なニーズに合わせてカスタマイズが可能です。
- プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を [ ] 内にご記入ください)  
 [ 2 ]                      [ 1 ]                      [ 4 ]                      [ 3 ]  
 販売提携                      技術提携                      資本提携                      その他提携
- < 提携の具体的な内容 >  
 ・販売代理店募集  
 ・エンドユーザー様へ販売窓口や上流工程を行っていただける企業様
- アライアンス対象の相手企業のメリット  
 ・首都圏企業様のメリットは、既に導入済みの既存システムのデータベースを有効利用し GIS の連携を実現する事で、既存ユーザー様へ新たなソリューションを展開していただく事が可能です。  
 ・弊社の製品は首都圏では、ほぼ無名ですので首都圏企業様のオリジナル製品として販売していただく事が可能です。また、新規開拓される企業様へは弊社の導入実績を持ってご提案からご協力させていただく事も可能です。

## プレゼンテーション企業概要及び発表内容

**平成 21 年度 第 74 回 (平成 22 年 2 月 16 日実施)**

プレゼンテーション企業会社概要									
会 社	名：株式会社ちえぶくる								
住 所	〒006-0003 札幌市手稲区西宮の沢 3 条 2 丁目 1-5								
T E L	：011-663-4000								
U R L	： <a href="http://www.chiebukuro.jp/">http://www.chiebukuro.jp/</a>								
設 立 年 月 日	：2001 年 7 月 13 日								
資 本 金 (百 万 円)	：10 百万円								
従 業 員 数	：9 名 (役員含)								
事 業 内 容	：WEB サイト企画・設計・構築・管理運営、WEB アプリケーション開発、WEB コンサルティング、インターネット広告代理店事業、ASP・SaaS プロモーション、ホスティングサービス等								
アライアンスビジネス交流会発表内容									
<p>プレゼンテーションする製品・サービスの分類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ASP プロモーション事業共同研究、FC 展開</li> </ul> <p>プレゼンテーションする製品・サービス名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインショップを販促する消費者向けWEBサイトの ASP サービス提供 (仮称) 北海道いんふお北海道物産・通販口コミランキング</li> </ul> <p>プレゼンテーションテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にこだわり、価格だけでなく産地、生産者、店舗のおもてなしを消費者が評価することで、地方と都市部をつなぐ。消費者目線で選ぶ口コミによるランキングサイトを ASP サービスで提供。この仕組みを用いて全国の地方のオンラインショップにさらにサービスを全国レベルにあげ、ぜひ、地方のオンラインショップを応援することを共に行える企業と提携を結びたい。</li> </ul> <p>プレゼンテーション概要</p> <p>インターネットオンラインショップの数は、急速に増えており、そのサービスの質はさまざまであり、多様な情報が氾濫している。特にメーカーが直接販売するに至っては、ものの質が良いにせよ、サービスの質が悪いことも少なくないのが現状である。</p> <p>そこで、オンラインショップの今後の消費者向けサービスにおいて、サービスの質を的確に上げていくコンサルティングの必要性が発生したり、またその体制整備が必要であると考え。それを地元オンラインショップの経営者に啓蒙していくためにも、サービスを利用し消費者動向を理解していただきやすい状況を作りだし、消費者の目線で、それを価格だけでなく評価されるという仕組みが必要なると思われる。本来の素晴らしい製品、それをサービスも充実することができれば、首都圏を中心とした関東、関西、東海地方の人たちに、ダイレクトにお届けできることを伝えていくことができるようになるのである。そこで、本 ASP サービスのような、地方から発信する情報を応援する仕組みが必要になるのである。</p> <p>そこで、私たちが、ASP サービスを通じて良質なオンラインショップの運営支援を行うことにより、地方でのビジネスチャンスを広げる役割を担いたいと考えている。特に、食に対してのこだわりや意識が高くなる中、インターネットで食を販売するオンラインショップを地方からの情報発信する仕組みとして実現したい。</p> <p>プレゼンテーションの目的 (ご希望の提携の優先順位 1~4 を [ ] 内にご記入ください)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">[ 1 ]</td> <td style="width: 25%;">[ 2 ]</td> <td style="width: 25%;">[ 4 ]</td> <td style="width: 25%;">[ 3 ]</td> </tr> <tr> <td>販売提携</td> <td>技術提携</td> <td>資本提携</td> <td>その他提携</td> </tr> </table> <p>&lt; 提携の具体的な内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道だけでなく、地方でがんばっているオンラインショップを応援したいという思いに共感していただける企業様との連携。</li> <li>・全国さまざまな地方の地元オンラインショップが販売している商品・サービスを、露出度を高め効果的に消費者へ伝えていきたい。また、ASP サービスを用いたFC展開の手法についても技術提携したい。また、都市部ではこのような地域活動を活性化させることに、どのような課題や問題を感じるか、今回意見をいただきたい。</li> </ul> <p>アライアンス対象の相手企業のメリット</p> <p>現在まで弊社では地域を中心としたさまざまなサービスを立ち上げ、地域に根付いた情報提供サービスを模索してきた。また、「北海道」という地にこだわり、オンラインショップや企業のWEBサイトを構築・運営・管理してきた。この弊社の9年の成功と失敗のノウハウ、経験値こそ、これからアライアンスを組む企業の、必ずやメリットになることと確信している。</p> <p>これからの時代におけるインターネットの課題として、地方の特徴のあるオンラインショップで販売される商品を、どのように都市部に伝えることができるかが課題となることは何度も述べてきた。地域の活性化を起こす1つの手法として、地方を中心とした本サービスをうまく利用することにより、飛び道具であるインターネット回線がその距離を縮め、その一躍を担っていきたいと考える。</p> <p>今まで情報の流通は中央から地方へというのが中心であったが、“食の現場”である地域からの情報を都市部の消費者まで伝えるために、情報提供手段としてASPサービスを必要とする企業とアライアンスを組むことにより、各地方の様々な企業にとってもメリットになると考える。</p>		[ 1 ]	[ 2 ]	[ 4 ]	[ 3 ]	販売提携	技術提携	資本提携	その他提携
[ 1 ]	[ 2 ]	[ 4 ]	[ 3 ]						
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携						



アライアンスビジネス研究会メンバー  
ピックアップコメント

## アライアンスビジネス研究会メンバーピックアップコメント

株式会社ミクロス ソフトウェア 代表取締役社長  
田中 聡 氏



「ビジネスマッチングは、人と人との信頼感が大事、  
Face to Face の人的交流の場がここにある」

平成 20 年度からアライアンスビジネス研究会メンバーとして参加し感じたことは、年々アライアンスビジネス交流会が活性化していることです。「アライアンスビジネス」というキーワードと、これまでの提携実績率や継続して行ってきた活動が、良い形で現れ、多くの企業が参加・活用されていることを、肌で感じています。

当社は、以前（アライアンスビジネス研究会メンバーになる前）より、プレゼンテーション実施による人的交流の形成や、聴講者として自社に関係ありそうなプレゼンテーションへ参加をしていましたが、研究会メンバーとなり、様々な技術を万遍なく聴講することによって、次のビジネスに活かすためのヒントを得るなど、有意義な活動となっています。

最近の交流会活動は、他団体との合同開催企画や道庁との協力開催企画など、スケールが大きくなっています。これは、プレゼンテーション側からは、製品がより外に知られるきっかけになりますし、聴講者側からは、違う視点の技術を知ることができます。また、聴講者層も異なるので、新しい形や組み合わせのアライアンスに結びつく可能性が広がるなど、メリットは大きいと思います。

私自身、長年いろいろな団体で役を担わせていただいているので、地方や他団体とのパイプ役ができればと考えています。また、起業されたアーリーステージの方へのフォロー（インキュベーション施設の紹介など）も、協力させていただければと思います。

アライアンスビジネス交流会は、その名のとおりビジネスマッチングの場です。その媒体として、製品があり、人的交流があります。まさに Face to Face の場所であり、その場に来ないとビジネスは生まれませんので、技術をお持ちのベンチャー企業、新規事業のビジネスシーズをお探しの企業など、多くの企業に参加いただければと思います。

プレゼンテーションされた製品が、日本国内だけでなく、世界で使われる製品になるよう、当社としても出来る限り、支援させていただきたいと思います。



**NO SALES , NO JOB**

## **平成 21 年度 アライアンスビジネス研究会 活動報告書**

---

平成 22 年 3 月 発行

発行 社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)  
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-15 日本自転車会館 1 号館 5 階  
TEL : 03-3560-8440 FAX : 03-3560-8441  
URL : <http://www.csaj.jp/>

---

©2010 Computer Software Association of Japan